
Linux ベースの商用 Sendmail で ぶららネットワークスの新しい大規模メールシステムを構築

**信頼性・安定性を確保しながら、構築・運用コストを削減
最新の「Intelligent Inbox」オプションにより高機能なメールサービスを提供**

センドメール株式会社(本社:東京都中央区、社長:小島國照)は、インターネットプロバイダ「ぶらら」を運営する株式会社ぶららネットワークス(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:板東 浩二)の新しい大規模メールシステムが、Linux ベースの商用 Sendmail で構築され、「ぶらら」の企業・学校向けサービス(1)において本格稼働を開始したことを発表いたします。

同システムは、Linux ベースのメールシステムとしては、国内最大規模となり、7月の稼働開始以来、安定したサービスを提供しています。

システムの設計・構築、ならびに今後の保守は、センドメールの販売パートナーであるニスコム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:尾上卓太郎)が担当しました。

ぶららネットワークスは、企業・学校向けサービスとして、UNIX サーバでオープンソースの sendmail を使用してメールサービスを提供していましたが、このたび、Linux ベースの商用 Sendmail でのシステムを刷新を図り、信頼性と高付加価値のサービスを提供しています。

新システムの主な特長は以下のとおりです。

1. 高機能なメールサービス追加により会員の利便性を向上

Sendmail の新しいオプション機能である「Intelligent Inbox」(インテリジェント・インボックス)を採用し、各種メール転送サービスや、条件付きメール着信拒否サービスなど、高機能な新しいメールサービスを提供可能となり会員の利便性を高めています。

2. セキュリティ機能強化により安全なメール環境を実現

従来の SMTP(送信)および POP(受信)のプロトコルに加えて、ユーザ認証(SMTP-AUTH)、パスワードの暗号化(APOP)、ならびに SSL(Secure Socket Layer)により、より安全なメール送受信環境を実現しています。

3. 構築・運用コストを大幅に削減

Linux サーバで構築したことで、安定性と冗長構成による信頼性を確保しながら、多くのユーザを対象とする大規模システムを低コストで構築。クラスタサーバも一元管理可能な商用 Sendmail により運用面での信頼性確保と効率が向上しました。

4. 会員増加に柔軟に対応可能な拡張性

ぶららネットワークスのメールサービスでは、今後さらに会員数が増加するものと期待されますが、商用 Sendmail は拡張性が高いことから柔軟に対応可能です。

Sendmail の「Intelligent Inbox」による新しいメールサービス

会員のアドレス宛に届いたメールを、会員自身が設定した条件に従って、指定アドレスに転送したり、受信拒否を行います。詳細な条件設定は、使い易い GUI により簡単に設定・変更可能です。

1. 転送サービス

会員のアドレス宛に届いたメールを、任意のメールアドレス(最大 5 ヶ所を指定)に転送できます。転送するメールは、メールサーバに保存するか否かを選択可能です。

2. 条件付き転送サービス

送信者(From)、あて先(To/Cc)、件名(Subject)、サイズの各項目に最大 5 つのルールを設定可能で、1 つの転送条件につき、最大 5 ヶ所の任意の指定アドレスに転送可能です。

3. 条件付き着信拒否サービス

ユーザ自身の設定により、受け取りたくないメールを、サーバで受信拒否することができます。メールアドレス 1 つにつき、送信者(From)、あて先(To/Cc)、件名(Subject)、サイズの各項目に最大 5 つのルールを設定可能で、受信拒否するメールに対して通知メールを送信するか否かの選択が可能です。

商用 Sendmail への移行が増加

商用 Sendmail は、オープンソースの MTA(メール転送エージェント:Message Transfer Agent)である sendmail をベースとして各種機能を追加しており、適切なメールシステムを、容易に構築・運用可能な設定ツールを付加したパッケージ・システムで、製品全体の約 8 割が商用版に追加された付加機能に相当します。また、オプションのウィルスやスパム対策ツールを統合して一元管理可能であること、クラスタ設定・管理も一元的に行えることが特長です。

ビジネスの大半が電子メールで行われるようになった昨今、メールシステムには、セキュリティの確保、運用・管理のし易さが求められており、オープンソースの sendmail から商用 Sendmail に移行するユーザが増加しています。

このたび、ぶらネットワークスに採用された Sendmail システムは以下のとおりです。

(1)Sendmail Switch

メール転送エンジン「Managed Switch MTA」と、管理を行う「Multi Switch Console」から構成され、監視・レポート・警告機能、フェイルオーバー機能などを提供するメール配送パッケージ

(2)Sendmail Advanced Message Server

MTA に、POP3、IMAP などを組み合わせた製品。メッセージストア(データベース)は拡張性が高く、また、1 つのメッセージストアでローカル、リモートいずれの環境からでも、高度なセキュリティを確保しつつメールアクセス可能

(3)Intelligent Inbox(オプション)

メール転送、受信拒否などのユーザ個人が設定可能なフィルタリングを、サーバ側で管理

(4)Sendmail Directory Server(オプション)

LDAP サーバ

(1)株式会社ぷららネットワークスの法人向けサービス「BUSINESS ぷらら」は、主に中小企業をターゲットにしたインターネットサービスです。従来、ユーザから要望の高かった「ウイルスチェック for Business」をはじめとする高機能メールサービスを今回のサーバ構築により実現いたしました。「BUSINESS ぷらら」のメールサービス等詳細については下記をご覧ください。

<http://biz.plala.or.jp/>

Sendmail 社について

<http://www.sendmail.com/>
<http://www.sendmail.com/jp/>

Sendmail 社(Sendmail,Inc. 本社：カリフォルニア州エメリビル)は、オープンソースのメール配送エージェント(MTA：Mail Transfer Agent)の「sendmail」を開発したエリック・オールマン(Eric Allman)と、Sybase 社や Integrated Systems 社で重役ポストを歴任したソフトウェア業界のベテラン、グレッグ・オルソン(Greg Olson)によって1998年に設立されました。2000年には、事業拡大のために、デイブ・アンダーソン(Dave Anderson)が社長兼 CEO に就任。Amdahl Corporation 社の元 CTO 兼上席副社長であったアンダーソンは、メインフレーム専業メーカーだった Amdahl 社を、ソフトウェアやサービスを手がけるベンダーへと見事に路線転換させた実績を持ちます。

Sendmail 社は非公開企業で、出資元としては、Morgan Stanley Dean Witter Private Equity、Chase H&Q、Robertson Stephens、Red Hat、Intel IA64 Fund、Novell、Adobe、Network Appliances、Network Associates、ANT、Trans Cosmos などのベンチャキャピタル投資者、企業投資者および一般投資家が名を連ねています。従業員は180人を超え、英国、ドイツ、フランス、および東京(アジア太平洋地域)に拠点を擁し、日本法人は、2003年1月に設立されました。商用版「Sendmail」は、欧米で約3万ライセンス、アジアで約1万ライセンスを出荷しています。

報道関係者お問い合わせ

SENDメール株式会社

担当：清水

TEL：03-5524-2338 FAX：03-5524-2438
marketing-japan@sendmail.com

ニスコム株式会社

担当：IAソリューション事業部

TEL：03-3797-7071 FAX：03-3797-7710
sendmail@ia.niscom.co.jp

Sendmail は、Sendmail, Inc.の登録商標です。Sendmail Advanced Message Server と Sendmail Mobile Message Server は、Sendmail, Inc.の商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標です。